

令和5年度収支決算報告

単位：千円

区 分		決 済 額
収 入	病院事業収益	1,901,989
	医業収益	1,182,683
	医業外収益	474,957
	老人保健施設事業収益	197,084
	訪問看護事業収益	47,256
	特別収益	9
支 出	病院事業費用	1,944,819
	医業費用	1,624,008
	医業外費用	93,629
	老人保健施設事業費用	184,446
	訪問看護事業費用	42,736
差 額		▲ 42,830

※決算額は税抜きです。



一日平均患者数  
(外来)  
161.3人 (R4:162.4人)

一日平均患者数  
(入院 99床)  
77.4人 (R4:81.3人)

一日平均利用者数  
(老人保健施設 45床)  
43.3人 (R4:42.1人)

一日平均利用者数  
(デイケア)  
10.1人 (R4:10.0人)

一日平均利用者数  
(訪問看護)  
21.1人 (R4:24.2人)

病床利用率  
78.2% (R4:82.2%)

5月から新型コロナウイルスの感染症分類がインフルエンザ並みとなり、当院でも発熱外来の受診者と、新型コロナウイルス感染症の検査数はともに減少しました。これに伴い、増加していた収入が減少することとなりましたが、智頭病院の入院患者は基礎疾患を持つ高齢者が多いため、院内での感染が広がらないよう対策を継続することで費用が増加しています。

さらに、近年の電気代や燃料代を含む物価の高騰により、これまでの経費節減効果が打ち消されています。

人件費についても上昇傾向にあります。これは医療・介護サービスの提供を継続するため、医療人材を確保する必要があるからです。

持続可能な地域医療提供体制確立のため経営強化を進めています。さらなる利用者の確保に取り組む必要があります。まずは、多くの地域住民に「かかりつけ医」として利用してもらうことが第一となります。また、鳥取市内の急性期病院からの患者受入を積極的に進めて

いくことで、収益の確保につなげ、健全な病院運営を目指します。

全国的に、地域包括ケアシステムの一層の推進が求められています。これは、皆さんが住み慣れた地域や自宅等で暮らし続けられるようにするための取り組みです。

智頭病院は、かかりつけ医としての役割をもちながら、患者さんがいざというときには入院し、元の生活に帰ることを目指します。退院にあたり、必要があれば訪問診療や訪問看護など、在宅での療養へスムーズに移行出来るよう体制を整えていますので、在宅療養の不安などあれば相談ください。

今後とも医療提供を継続するとともに、安心してこの地域で暮らせるよう、地域の皆さんに信頼される病院を目指します。

